

取組と目標に対する自己評価シート（フェイスシート）

タイトル	介護給付費適正化
------	----------

現状と課題

調査の結果、無回答を除いた約4割の方が介護保険サービスを利用していないと回答している等、サービス利用の適切な認識がされておらず、必要とされるサービス提供に繋げるためには適正化事業の強化が課題となる。これまで実施していたケアプラン点検等の実施に加え、国保連提供の帳票確認を実施することで適切なサービス提供に繋げる必要がある。

第7期における具体的な取組

種別	内容	年度	実施率
要介護認定の 適正な実施	実際に調査した調査員とは別に、町の調査員が調査結果の点検を行い、調査水準が同一になるよう努めています。また、介護認定審査会には、審査判定に際しての調査結果の疑義に対応できるよう、町の調査員が同席し、審査情報の提供に努めています。	平成29年度	100%
		平成30年度	100%
		平成31年度	100%
		平成32年度	100%
ケアプランの点検	住宅改修、軽度者に係る福祉用具貸与の例外給付、短期入所特例利用に関する申請受付時にケアプランの点検を実施し、利用者に適したプランであるか確認を行い、適していない場合は改善を求めます。	平成29年度	100%
		平成30年度	100%
		平成31年度	100%
		平成32年度	100%
住宅改修の点検	住宅改修の工事前に申請者宅を訪問し、利用者に適した改修内容であるか確認します。 また、工事後に再度、利用者宅を訪問し、申請通りに工事が実施されたかを確認します。	平成29年度	100%
		平成30年度	100%
		平成31年度	100%
		平成32年度	100%

実施率：実施数を対象数で除した値(小数点切上)

福祉用具購入・貸与調査	福祉用具購入者や福祉用具貸与を受けている利用者宅に訪問し、利用状況などを踏まえ、利用者に適しているか確認します。	平成29年度	0%
		平成30年度	5%
		平成31年度	10%
		平成32年度	15%
介護給付費通知	介護サービス利用者に対して、年に4回（6月、9月、12月、3月）、3カ月分の介護報酬の請求や費用の給付状況などについて通知することにより、適切なサービスの利用と不正請求の防止に努めています。	平成29年度	100%
		平成30年度	100%
		平成31年度	100%
		平成32年度	100%
縦覧点検・医療情報との突合	愛知県国保連合会からの介護報酬の支払い状況を確認し、提供されたサービスの整合性、算定回数、算定日数などの点検を毎月行います。請求内容の誤りなどがある場合は、介護サービス事業所への聞き取りなどを行い、適切に処理します。 また、医療と介護の給付情報を突合し、サービスの整合性を点検します。	平成29年度	100%
		平成30年度	100%
		平成31年度	100%
		平成32年度	100%

実施率：実施数を対象数で除した値(小数点切上)

目標（事業内容、指標等）

同上

目標の評価方法

- 時点
 - 中間見直しあり
 - 実績評価のみ
- 評価の方法
 - ・ 実績値と目標値の比較